

学ぶ子
励む子
元気な子

東つるやま



学校便り

備前市立東鶴山小学校
令和8年1月8日 第24号

本年もよろしくお願いいたします。

始業式・終業式・全校朝会では、その時期に合った資料を準備して提示しながら話す中で、子どもたちに考えを求めるようにしています。

今回は、終業式の前日に、各学年代表の児童を教室で決めてもらいました。代表になった児童の中には、「校長先生、僕が代表になりました。明日の終業式で何を話すのですか？」と聞いてくる子もいました。予測できないことは、ドキドキするものです。

昨年度同様、終業式では、2学期の写真を見ながら説明をしてもらいました。「〇〇に行きました。」「〇〇をしました。」だけではない言葉がでてきました。

「あなたの学年で2学期にあった行事や学習について、みんなに説明してください。」

吹き出しは、その場で映し出されたスライドを見ながら考えた子どもの言葉です。

() 内は、説明してくれた児童の学年です。



読んでみたい本がたくさんありました。また、図書館に行ってみたいです。(2年)



小さなぶどうの時に見せてもらいました。2回目に行ったときにはぶどうの房が大きくなっていました。1房が5000円くらいするそうです。(4年)



消防署に見学に行きました。ドアを開けるための、とても重たい道具を持たせてもらいました。(3年)



警察署では、白バイや捜査の仕方について教えてもらいました。DNA鑑定についても教えてもらいました。(4年)



自分たちの記録に挑戦しました。別の小学校の女子がソフトボールの新記録を出していました。(6年)



カッターや地引き網などの活動で、他の学校の友達と協力してがんばることができました。(5年)



4つの学校の人たちと一緒に外国語の学習をしました。他の学校の友達と仲良くなることができました。（6年）



車椅子体験では、押したり乗って自分で動かしたりしました。車椅子に乗ると、上の方は見えにくくなりました。（3年）



いろいろな形の木を切りました。木を切るのが楽しかったです。（1年）



テナガザルやキリンなど、たくさんの動物がいました。楽しかったです。



水を袋に入れました。袋を持ってみると、とても重かったです。（1年）



事前に調べて行ったのですが、実際に見てみるともっと歴史が知りたくなりました。（6年）

最初が1・2年生のスライド。代表の児童は、どう言おうか、何を話そうかと、しばらく悩んでいました。緊張してすぐに話せなかったのだと思います。温かい沈黙の時間が流れました。みんなが急かさずに静かに待っていました。私がそばに行き、小さな声で質問をすると、その児童は説明し始めました。話し終わった時のホッとした笑顔と、聞いていた全校児童の温かい拍手が嬉しかったです。

これから子どもたちは、変化の激しい社会の中で得た情報を読み解きながら主体的に会話をして、新しい考えを作ったり、課題を解決したりすることが求められています。代表に選ばれて突然テーマを言われたにもかかわらず、全員、覚悟を決めて言うことができました。素晴らしい子どもたちです。

今の学年で過ごす時間も残り少なくなってきました。子どもたちには、1日1日を大切にして、次の学年に向かって自分の成長を実感できる3学期にしてほしいと思います。今年も昨年同様、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。